

西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林 希少-29

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	56.24ha
設定年	1987(S62)年
保護林の概要 (設定目的)	西ノ湖の東側から南側の稜線や山腹急斜面に成立している乾性立地性の天然林で(当該地域の尾根型の天然林)、岩角地といった特殊な立地を好むヒメコマツ、チョウセンゴヨウ、シロヤシオ、アカヤシオなどが混在または優占しており、学術上および森林施業上の考証として、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、当該地域の乾性立地において土地的極相林として成立しているヒメコマツ・シロヤシオ・アカヤシオの生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2012年、2017年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ヒメコマツが生育する林分1地点、シロヤシオが生育する林分2地点において計3か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。
結果概要	保護対象種のシロヤシオに稀に枯損や樹皮剥ぎの被害が見られるが、全体としては良好な状態で維持されていると評価できる。 ヒメコマツはプロット内に老齢木が1本生育しているのみで、枯損に至るような程度ではないがシカによる樹皮剥ぎが見られる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。